



岸本周平  
Kishimoto Shuhei  
中央大学客員教授

<http://www.shuhei-k.jp>  
<http://blog.goo.ne.jp/shu0712>

# 統一地方選挙 始まる!

統一地方選挙と参議院選挙が同じ年に行われるのは12年に1度のこと。今年は12年ぶりに両方が一緒に行われる年です。そして、ついに統一地方選挙の幕が切って落とされました。4月8日(日)投票日の県議会議員選挙、22日(日)投票日の市町村議会選挙です。県議会議員選挙は、原稿作成中の今、すでに中盤となっています。一昨年の私の選挙のときには、民主党の県議会議員はゼロでした。去年の夏の補欠選挙で、ようやく一人公認候補を当選させることができました。そして、無所属の現職に入党をお願いし、県政史上初めての民主党和歌山県議団が誕生したのです。



今回の選挙では、公認・推薦合わせて6名の候補者を立てて戦っています。4年前には、推薦候補ただ一人でしたから、小さいながらも伸びています。何とか、全員の当選を目指して頑張りたいと思います。市議会も、公認・推薦合わせて和歌山市で4名、橋本市で2名が立候補の予定です。4年前は和歌山市の公認1名だけでしたから、進歩のあとが見られます。発射台

は低いですが、伸び率は大したものですよ。

談話と汚職の和歌山の政治風土は一朝一夕に変わるものではありません。しかし、一党独裁的な政治で、競争がないままでは、和歌山県の停滞はますますひどくなるでしょう。政治にも競争が必要です。和歌山の民主党は、まだ無に等しいくらいの実力です。昨年未の知事選で候補を立てられなかったのは、ほんとうに残念でした。しかし、地方議員がほとんどいない現状からすればやむを得ません。

まず、足腰を鍛えるために、県会および市議会議員から民主党の地盤をつくっていきます。保守王国の和歌山で、民主党の地方議員を増やしていくことは大変です。しかし、逆に言えば、手作りでゼロから作っていく楽しみがあります。「まっすぐ清廉な政治」を目指すわたしの政治姿勢に共鳴する同士だけで戦える爽やかさがあるのです。

県会の選挙期間中、民主党前代表の前原誠司衆議院議員が応援に駆け付けてくれました。前原さんご自身の選挙区での地方選挙の応援もあり、また、全国から応援依頼のある中で、友人として無理をいって来和していたいただきました。二人の公認候補の街頭演説に参加していただきましたが、熱い演説に胸がいっぱいになりました。

結局は、わたしたち有権者の一票一票が政治を変えるのです！ 自分の当選のためにも、この統一地方選挙は重要です。和歌山を変えるために、県会、市会合わせて12名の候補者と力を合わせて頑張っています。本稿が発売される頃には結果が出ています。次号にて結果発表いたしますので、乞うご期待です。

